

静岡県および御前崎市による津波対策工事ほか追加工事の 点検および確認について(第 59 回)

2016 年 9 月 13 日

本日(9月13日)、当社が実施している津波対策工事ほか追加工事(※1)について、御前崎市の立ち会いの下、静岡県による点検を受けましたので、お知らせします。

本日の点検において、竜巻対策(海水取水ポンプおよび配管に対する飛来物防護対策)、変圧器一相開放(※2)対策および可搬型気象観測装置について点検を受けました。

静岡県から、「竜巻対策、変圧器一相開放対策および可搬型気象観測装置の配備について、中部電力の計画どおり実施されていることを確認した。可搬型気象観測装置について、必要なときに確実に使うことができるように、今後、訓練および点検を実施してほしい。」との講評をいただきました。

御前崎市から、「これまでおこなった点検をとおして、対策工事が一つひとつ着実に完了しているという印象を持った。残りの工事についても、市民の安心、安全のために、スピード感を持って、着実に工事を進めるとともに工程管理をしっかりとこなしてほしい。」との講評をいただきました。

また、静岡県から、「次回の点検は、10月14日に実施予定である。」旨の連絡がありました。



変圧器一相開放対策 点検の様子



可搬型気象観測装置 点検の様子

※1 自主的に取り組んできた重大事故対策や、2013年7月に施行された原子力規制委員会の新規規制基準を踏まえ追加した対策工事などのことです。

※2 一相開放とは、交流電源回路の三相(3線)のうち一相(1線)が何らかの異常(断線等)により開放され通電できない状態になることです。

(これまでにお知らせした内容は、[こちら](#)でご覧いただけます)

以上